

謝辞

本研究の最後にあたり、博士課程のすべての過程で、多くの皆様にご指導・ご支援・ご協力いただいたことを、心より御礼申し上げます。

予備研究では、11 名のお母さん方と地域交流活動を運営する方々に、インタビューにご協力いただきました。インタビューでの多くの気づきや学びが、本研究へとつながりました。心より感謝申し上げます。

本研究でも、多くの皆様のご協力を頂き、調査を行うことができました。調査協力者からの「就学前の子どもを持つ母親にとってかけがえのない場所です。このような場所が増え、より良くなることを願っています」などのメッセージや、調査協力者ならびに、協力いただいた地域交流活動の運営者の皆様から、励ましの言葉も複数いただき、研究をまとめていくうえで、大きな励みになりました。心より感謝申し上げます。

聖路加国際大学博士後期課程の過程で、暖かく見守りながらご指導いただきました、諸先生方に心から感謝申し上げます。指導教官である聖路加国際大学の麻原きよみ先生には、公私ともに様々な悩みに寄り添いながら、忍耐強くともに歩んでいただきました。また、多くのことを教えていただきました。数多くのご心配とご心労をおかけしたことをお詫びするとともに、心より深く感謝申し上げます。審査およびご指導をいただきました、聖路加国際大学の片岡 弥恵子先生、中山和弘先生、Sarah. E. Porter 先生、そして、大阪府立大学の上野昌江先生には、研究計画の段階から審査後にわたり、多くのご助言と励ましを頂き、本当に有難うございました。心より深く感謝申し上げます。

また、職場の理解の下、博士後期課程に在籍し、研究を遂行することができたことに、感謝いたします。在職しながらの進学にご配慮くださいました、国立保健医療科学院の諸先生方、様々なサポートを下さいました小室千秋さんに、心より感謝申し上げます。

博士課程の仲間の存在は、最後まで心の支えでした。本当に有難うございました。

最後に、終始見守りサポートしてくれた家族と、寄り添って見守ってくれた愛犬、友人の皆様に感謝いたします。

本研究は、日本学術振興会の科学研究費助成事業、挑戦的萌芽研究（課題番号 26671050）の研究助成を受けて、実施することができました。

殿

研究の説明書

私は、地域の人びととのつながりを基盤とした、乳幼児を育てる母親を支援するモデルを構築について研究しております。この度、「乳幼児を育てる母親が、地域の人びととの交流を意図した活動に参加する経験」についての研究を実施するにあたり、研究へのご協力をお願いいたします。

1. 研究の目的と意義

近年、乳幼児を育てる母親（家族）についても、地域や他者とのつながりが希薄で、頼りにする相手がない「孤立」の状態にあることで、母親が一人で悩み問題を抱え、相談し支援を得ることができずに起こる問題が後を絶ちません。

本研究は、乳幼児を育てる母親が地域の人びととの交流の機会を得られる地域交流活動への参加をとおして得られるものと、支援者などが母親へ行った働きかけを明らかにすることを目的としています。本研究の結果を踏まえて、地域の人びととのつながりを基盤とした、乳幼児を育てる母親を支援するモデルの構築を検討したいと考えています。

2. 研究の方法

1) 実施方法

(1) 自治体担当者の方、代表者の方へのインタビューについて

日頃の活動や、工夫していること、継続的に参加している母親の変化、母親への働きかけなどについて、感じていることを1時間程度お聞かせいただきます。ご許可がいただければICレコーダーに録音させていただきたいと思います。ご許可をいただけない場合はメモを取らせていただきます。インタビュー回数は1回を予定しておりますが、場合によっては2回お願いする可能性もあります。

(2) 乳幼児を育てる母親のご紹介について

下記の条件に合い、研究への参加の意思を持たれた方をご紹介いただきたいと思います。連絡先を研究者に教えていただくか、条件に合う母親が活動に参加される日時について、情報提供いただき、活動の場で研究者より連絡先についての情報提供の依頼をさせていただきたいと思います。研究者より母親に連絡し、研究の説明および依頼をいたします。

〈研究協力者の条件〉

乳幼児を育てる母親のうち、下記条件に該当する女性（各活動組織1～3名程度）

- ① 地域の人びととの交流を意図して行っている地域活動（以下、地域交流活動）に、継続して参加していること
- ② 本研究の目的を理解し、本研究に協力する同意が得られていること

- ③ 本研究参加時点で乳幼児期の第1子を育てていること
- ④ 地域交流活動への参加開始時、育児の悩みを相談したり、手助けを求めて得られる人が地域に乏しい状態であったと母親が自覚していたか、母親の発言等から支援者が判断した者。具体的には、育児の悩みを安心して相談できる相手がいない状態、夫の手助けを得ることが困難な状態あるいは、身近にすぐに助けに来てくれる祖父母やきょうだい、友人がいない状態にあることとする。

研究の協力を得られた母親を対象に、「基本情報についての質問紙（アンケート）」を取らせていただくとともに、地域交流活動に参加したことで感じたことや、地域・地域の人びととの関係の変化などについて、1時間程度お話を伺います。ご許可がいただければICレコーダーに録音させていただきたいと思います。ご許可をいただけない場合はメモを取らせていただきます。インタビュー回数は1回を予定しておりますが、場合によっては2回お願いする可能性もあります。

2) データ収集期間

平成26年6月から11月までの、研究協力者の都合がよい日時に実施します。

3) この研究の予想される効果と、起こるかもしれない不利益について

インタビューを受けた方に、直接的により効果が生じることはありませんが、自治体が施策を実施するうえで参考にさせていただける、「1. 研究の目的と意義」に示した効果が考えられます。起こるかもしれない不利益は、インタビューによりお仕事やプライベートの時間が短くなることと、インタビューを受けることによる疲労です。インタビュー時間は、不都合が生じない日時に行わせていただきたいと思います。継続できない場合は、いつでも申し出て下さい。また、答えにくい内容については、お答えいただく必要はありません。

3. 倫理的配慮

1) 本研究の主旨については、文書と口頭で説明を行いますが、研究への協力は自由意志に基づきます。研究への協力の承諾を得られた場合には、同意書にご署名いただきます。署名の得られた同意書は、両者が保管できるようにいたします。

2) 一度研究への協力について、同意書にご署名いただいた場合であっても、研究の途中でいつでも辞退することができます。そのことにより不利益を受けることは一切ありません。遠慮なくお申し出下さい。

3) インタビューは研究協力者の都合がよい日時、話しやすい場所を設定し行います。

4) 全研究過程を通じて、研究協力者とその家族や友人等に関する情報の匿名性を保持し、個人情報保護を遵守します。個人情報を保護するために、研究協力者の氏名はすべて番号で記録し、個人の特定を避けるとともに、研究者の他の目に触れない場所にデータを保管いたします。

5) この研究の成果は、学会や学会誌等にて発表することを予定していますが、研究協力

者の同意を文書で得た上で行い、個人が特定されないよう匿名性を保持し、個人情報保護を遵守します。

6) 個人情報にかかわるすべての資料は、研究終了後破棄します。個人が特定されない文書・資料については、3年間保管し、厳重に管理するとともに、分析が終了し3年経過した後、破棄いたします。

7) 利益相反について

本研究は企業等からの資金は一切受けておりません。

8) データの二次利用について

インタビューデータを他の研究に活用することは予定しておりません。

本研究につきまして、ご質問等ございましたら、いつでも下記宛てにお問い合わせください。

研究者：川崎 千恵

指導教授：麻原 きよみ

所属機関：聖路加国際大学博士後期課程

所属機関住所：東京都中央区明石町 10-1

電話：

殿

研究の説明書

私は、地域の人びととのつながりを基盤とした、乳幼児を育てる母親を支援するモデルを構築について研究しております。この度、「乳幼児を育てる母親が、地域の人びととの交流を意図した活動に参加する経験」についての研究を実施するにあたり、研究へのご協力をお願いいたします。

1. 研究の目的と意義

近年、乳幼児を育てる母親（家族）についても、地域や他者とのつながりが希薄で、頼りにする相手がいない「孤立」の状態にあることで、母親が一人で悩み問題を抱え、相談し支援を得ることができずに起こる問題が後を絶ちません。

本研究は、乳幼児を育てる母親が地域の人びととの交流の機会を得られる地域交流活動への参加をとおして得られるものと、支援者などが母親へ行った働きかけを明らかにすることを目的としています。本研究の結果を踏まえて、地域の人びととのつながりを基盤とした、乳幼児を育てる母親を支援するモデルの構築を検討したいと考えています。

2. 研究の方法

1) 実施方法

研究の協力を得られた皆様を対象に、「基本情報についてのアンケート（質問紙）」を取らせていただくとともに、地域活動に参加したことで感じたことや、地域・地域の人びととの関係の変化などについて、1時間程度お話を伺います。ご許可がいただければICレコーダーに録音させていただきたいと思います。ご許可をいただけない場合はメモを取らせていただきます。インタビュー回数は1回を予定しておりますが、場合によっては2回お願いする可能性があります。

2) データ収集期間

平成26年6月から11月までの、研究協力者の都合がよい日時に実施します。

3) この研究の予想される効果と、起こるかもしれない不利益について

インタビューを受けた方に、直接的により効果が生じることはありませんが、自治体の実施する施策には、「1. 研究の目的と意義」に示した効果が考えられます。起こるかもしれない不利益は、インタビューによりお仕事やプライベートの時間が短くなることと、インタビューを受けることによる疲労です。インタビュー時間は、不都合が生じない日時に行わせていただきたいと思います。継続できない場合は、いつでも申し出て下さい。また、答えにくい内容については、お答えいただく必要はありません。

3. 倫理的配慮

1) 本研究の主旨については、文書と口頭で説明を行いますが、研究への協力は自由意志に基づきます。研究への協力の承諾を得られた場合には、同意書にご署名いただきます。署名の得られた同意書は、両者が保管できるようにいたします。

2) 一度研究への協力について、同意書にご署名いただいた場合であっても、研究の途中でいつでも辞退することができます。そのことにより不利益を受けることは一切ありません。遠慮なくお申し出下さい。

3) インタビューは研究協力者の都合がよい日時、話しやすい場所を設定し行います。

4) インタビューの実施中に、体調不良や精神的苦痛が生じた場合は、インタビューを中断します。また、必要に応じて、対象者の了承を得て、心理的ケアの専門家のケアを受けられるように努めます。

5) 全研究過程を通じて、研究協力者とその家族や友人等に関する情報の匿名性を保持し、個人情報保護を遵守します。個人情報を保護するために、研究協力者の氏名はすべて番号で記録し、個人の特定を避けるとともに、研究者以外の目に触れない場所にデータを保管いたします。

6) この研究の成果は、学会や学会誌等にて発表することを予定していますが、研究協力者の同意を文書で得た上で行い、個人が特定されないよう匿名性を保持し、個人情報保護を遵守します。

7) 個人情報にかかわるすべての資料は、研究終了後破棄します。個人が特定されない文書・資料については、3年間保管し、厳重に管理するとともに、分析が終了し3年経過した後、破棄いたします。

8) 利益相反について

本研究は企業等からの資金は一切受けておりません。

9) データの二次利用について

インタビューデータを他の研究に活用することは予定しておりません。

本研究につきまして、ご質問等ございましたら、いつでも下記宛てにお問い合わせください。

研究者：川崎 千恵

指導教授：麻原きよみ

所属機関：聖路加国際大学博士後期課程

所属機関住所：東京都中央区明石町 10-1

電話：

聖路加国際大学

学長 井部俊子 殿

研究への参加・協力の同意書

私（調査協力者）は「乳幼児を育てる母親が、地域の人びととの交流を意図した地域活動に参加することで得られるもの」についての研究について、説明文書を用いて説明を受け、内容を理解し、この研究に参加・協力することに同意します。また、研究結果について、個人が特定できない形で匿名性を保持し、個人情報保護を遵守したうえで、学会や学会誌等にて発表することについて、同意します。

なお、この同意はいつでも撤回できることを確認しています。

日付 平成 年 月 日

研究参加者氏名（ご署名） _____

説明者氏名（署名） _____

聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 承認番号：15-010

聖路加国際大学

学長 井部俊子 殿

研究への参加・協力の同意撤回書

私（調査協力者）は「乳幼児を育てる母親が、地域の人びととの交流を意図した地域活動に参加することで得られるもの」についての研究について、同時しましたが、この度、同意を撤回することにしましたので、通知します。

同意撤回年月日 平成 年 月 日

氏名（ご署名） _____

基本情報についてのアンケート

選択肢のある質問については、該当するもの 1 つを○で囲ってください。

1. 年齢 [] 歳
2. 家族構成
 単独世帯（夫と子ども）
 二世帯
 その他 （ ）
3. 居住年数（調査時点） [] 年 [] ヶ月
4. この地域活動（活動の名称）への参加前の状況について
 - 1) 身近に手助けを求めればすぐに助けに来てくれる家族（祖父母やきょうだい）友人などはいましたか
 いる
 いない
 - 2) 育児についての知識や情報を得られる友人などはいましたか
 いる
 いない
5. 地域活動（活動の名称）への参加期間（調査時点）
 [] 年 [] ヶ月
6. 以前の地域活動への参加状況
 妊娠・出産前参加していたこともあった
 妊娠・出産前参加していたことはなかった
 妊娠・出産前から何らかの地域活動に参加している

ご協力ありがとうございました。

インタビューガイド（母親）

1. この地域交流活動（活動の名称）には、どうして参加したのですか？参加するまでのことを教えてください。
2. この地域交流活動（活動の名称）に参加して感じていること、例えばよかったこと、嬉しかったこと、印象に残っていることなどについてお聞かせください。
3. この地域交流活動（活動の名称）に参加して、自分にとって、あまりよい思いを抱かなかったこと、例えば、何かしんどかったことや、マイナスの影響を受けたことなどについてお聞かせください。
4. あなたにとって、この活動はどのような場だと感じていますか。
5. この地域交流活動（活動の名称）で、よかったと感じた内容や、支援者の手助けや働きかけについて、お聞かせください。
6. この地域交流活動（活動の名称）に参加したことで、地域の人との関係に変化はありましたか。そのことで、あなたはどんな気持ちを抱きましたか。
7. 地域交流活動（活動の名称）に参加する前後で、地域や地域の人びとのことをどのように感じていましたか。その変化は、あなたに何をもたらしましたか。
8. この地域交流活動（活動の名称）に参加したことで、今後、この地域で育児を行っていくことについて、どのように感じるようになりましたか。
9. その他、あなたの感じていることをご自由にお聞かせください。

インタビューガイド（地域交流活動の運営者）

1. 地域（地区）や地域（地区）に暮らす、乳幼児を育てる母親（家族）の特性についてお聞かせください。この地域で乳幼児を育てる母親について意識している課題があれば、併せてお聞かせください。
2. この地域交流活動（活動の名称）の目的や特徴、工夫していることなどについて、教えてください。
3. 参加者とどのように関わっていますか。関わりのなかで、大切にしていることや、意識していることについて、お聞かせください。
4. 地域交流活動（活動の名称）に継続して参加している母親の変化について、感じておられることをお聞かせください。また、何がそのような変化をもたらしていると思われますか。
5. 乳幼児を育てる母親がこのような地域交流活動（活動の名称）に参加して、地域の人びとと交流することについてのお考えをお聞かせください。
6. その他、感じておられることを、ご自由にお聞かせください。

研究への参加のお願い

皆さまには、これまで、インタビューや分析の結果についての確認など、研究にご参加いただきましたこと、心よりお礼申し上げます。

皆さまからお聞かせいただいたお話から、地域活動への参加と健康に関する質問紙を作り、アンケート調査を行い、乳幼児の母親の健康と地域交流活動への参加の関連について調べていきたいと考えております。

そこで、アンケート調査を行う前に、皆さまに今回作成した質問紙に実際にお答えいただき、質問紙についてのご意見やご感想をお教えいただきたいと存じます。

この研究は、博士論文の一部としてまとめ、地域看護分野の専門の学会や学術雑誌に公表させていただきます。その際に、質問紙のお答えや、ご意見、ご感想の内容について個人のお名前が出るようなことはございません。また、研究の目的以外で使用することは一切ございません。

ご多忙とは存じますが、研究の趣旨をご理解いただき、どうぞ皆さまのご自由な意志で、ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

平成 28 年 月 日

聖路加国際大学大学院博士後期課程 川崎千恵

指導教員

聖路加国際大学 大学院 教授 麻原きよみ

住所：東京都中央区明石町 1 0 - 1

電話：0 3 - 3 5 4 3 - 6 3 9 1（代表）

平成28年 月 日

(職 位)

(職 位) 様

聖路加國際大學大学院博士後期課程

川崎 千恵

研究へのご協力のお願い

私は聖路加国際大学大学院看護学研究博士後期課程3年の川崎千恵と申します。

現在、「乳幼児を育てる母親のための地域とのつながりを生む地域交流活動の機能と、子育て、健康認識の関連」についての研究に取り組んでおります。研究の概要につきましては、別紙をご参照くださいますよう、お願いいたします。

今回の調査では、乳幼児の母親の皆さまの地域交流活動（子育て広場、サロンなど）や健康に関する意識などについて質問紙にてお伺いいたします。大変お忙しいこととは存じますが、ご協力をいただきたくお願い申し上げます。本調査への協力は貴機関および乳幼児の母親の皆さまの任意によるものであり、乳幼児の母親の皆様は無記名で回答いただく調査です。ご協力いただけない場合も貴機関および乳幼児の母親の皆さまに不利益が生じることはございません。この調査の結果は、地域交流活動に参加することによる効果や活動のあり方について検討する際の貴重な資料といたします。

つきましては、貴機関で実施する、もしくは地域で行われている、乳幼児の母親を対象とする地域交流活動（子育て広場、サロン等）に継続して参加している皆さまに、質問紙を配布していただきたく、お願い申し上げます。ご協力をお願いのためのポスターも同封させていただきます。研究協力は自由意思に基づくものであり、研究にご協力いただける方には、後日質問紙をご返送いただく、もしくは **Web** 上でご回答いただく予定です。

質問紙は無記名であり、情報管理を厳重に行うこととお約束いたします。研究成果を学会や学術雑誌に公表する際も匿名性を確保いたします。本研究以外の目的に使用することはありません。なお、本研究は聖路加国際大学研究倫理審査委員会の承認を受けております。【●●一●●●】

以上の趣旨に基づきまして、研究協力依頼のためにご協力を賜りたく、ご検討のほどよろしくお願いいたします。

本研究に関してのご質問やご不明な点がございましたら、下記にお問合わせください。

本研究は、文部科学省科学研究費（挑戦的萌芽研究）の助成を受けて行っています。

【お問い合わせ・連絡先】

〒104-0044 東京都中央区明石町10-1 聖路加国際大学公衆衛生看護学教室

川崎千恵

指導教員：麻原きよみ

TEL/FAX:

E-mail:

地域交流活動への参加と健康に関する調査ご協力をお願い

各位

私は聖路加国際大学大学院博士後期課程の川崎千恵と申します。現在、乳幼児の母親の健康と地域交流活動への参加の関連について研究に取り組んでおります。研究の概要につきましては、別紙「研究の説明書」をご参照くださいますようお願いいたします。

今回の研究では、皆さまの地域交流活動（子育て広場、サロンなど）や健康に関する意識などについて質問紙にてお伺いいたします。大変お忙しいこととは存じますが、ご協力をいただきたくお願い申し上げます。本調査への協力は皆さまの任意によるものであり、無記名で回答いただく調査です。ご協力いただけない場合も皆さまに不利益が生じることはありません。この調査の結果は、地域交流活動に参加することによる効果や活動のあり方について検討する際の貴重な資料といたします。つきましては、ぜひ皆さまにご協力をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

今回の調査結果につきましては、博士論文として公表するほか、国内外の保健医療分野の学会や学術雑誌において公表をさせていただきます。質問紙に回答された内容は、すべてコンピューターにて統計処理を行いますので、個人が特定されることは一切ございません。また、この研究以外の目的で使用することもありません。なお、本研究は聖路加国際大学研究倫理審査委員会の承認を得て行っています。承認番号【●－●●】

ご多忙中大変恐縮いたしますが、何卒調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。質問紙にご回答の上、同封の返信用封筒に入れ封をし、●月●日（●曜日）までにご返送もしくは備え付けの袋に入れてご返送ください。もしくは、回答方法をご参照いただき、Web 上でのご回答をようお願いいたします。

質問紙の返送、もしくは Web 調査への回答をもって研究協力へのご同意を得られたものといたします。

本研究は、文部科学省科学研究費（挑戦的萌芽研究）の助成を受けて行っています。

【お問合わせ・連絡先】

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 聖路加国際大学公衆衛生看護学教室

川崎千恵

指導教員：麻原きよみ

TEL/FAX:

E-mail:

地域交流活動への 参加と健康に関する調査



この調査では、住民の皆さまの地域交流活動（子育て広場、サロン等）への参加や健康に関する意識などについて質問紙にてお伺いいたします。調査は皆さまの任意によるものであり、無記名で回答いただく調査です。この調査結果は、地域における母子のための交流活動の意義やあり方を検討する上での貴重な資料といたします。

つきましては、ぜひ皆さまにご協力いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

ご協力いただける場合は、

1. 質問紙に回答の上、同封の返信用封筒に入れて●月●日（●曜日）迄にご返送（返信用封筒に記名の必要はございません）いただくか、
2. Web 調査にてご回答ください（回答方法は別紙をご参照ください）。

URL: ●●●●

お問合せ・ご連絡先

住所：〒104-0044

東京都中央区明石町 10-1

聖路加国際大学 公衆衛生看護学教室

川崎千恵

指導教員：麻原きよみ

TEL/FAX:

E-mail:

地域交流活動への参加と健康に関する調査

I. あなた自身のことについて

問 1. 年齢（数値回答）

[]歳

問 2. 世帯構成（1つだけ○）

- | | | |
|-----------|-----------------|--------|
| 1. 実父母と同居 | 2. 義父母と同居 | 3. 核家族 |
| 4. ひとり親 | 5. その他 [具体的に : |] |

問 3. お住まいの形態について（1つだけ○）

- | | | |
|-------------------|-----------------|------------|
| 1. 一戸建(持家) | 2. マンション・アパート | 3. 一戸建(賃貸) |
| | (分譲) | |
| 4. マンション・アパート(賃貸) | 5. その他 [具体的に : |] |

問 4. お住まいの地域（

[]都道府県 []市町村

問 5. お住まいの地域での居住年数（数値回答）

[]年

問 6. 経済状況について（1つだけ○）

1. ゆとりがない
2. ややゆとりがない
3. どちらともいえない
4. ややゆとりがないある
5. ゆとりがある

問 7. 現在の就労状況について（1つだけ○）

- | | | |
|---------------|----------------|----------|
| 1. 就労中（フルタイム） | 2. 就労中（パートタイム） | 3. 育児休業中 |
| 4. 専業主婦 | 5. 自営業 | 6. その他 |

問 8. 最終学歴について（1つだけ○）

- | | | |
|-----------------|-------------|------------|
| 1. 中学・高校卒 | 2. 専門学校・短大卒 | 3. 大学・大学院卒 |
| 4. その他 [具体的に : | |] |

〔 〕歳 〔 〕ヶ月

1. 1人 2. 2人 3. 3人
4. 4人以上

1. 幼稚園 2. 保育園 3. なし
4. その他「具体的に」

1. 通院していない 2. 通院している

2 とお答えの場合、通院中の疾患名 [具体的に：]

1. 1～3 ヶ月 2. 3～6 ヶ月 3. 6 ヶ月～1 年
4. 1 年以上 5. その他〔 具体的に： 〕

1. 5～6回 2. 7～8回 3. 9～10回
4. 10回以上 5. その他〔具体的に： 〕

1. していた
2. していなかった



Ⅱ. あなたが参加している地域交流活動について

問 1. この活動の運営に携わる人※の職種について（該当するものすべてに○）

※運営に携わる人とは、運営者及び活動のお手伝いをするボランティア等のことです。

1. 自治体の職員（保健師、保育士、児童館職員等）
2. 地域の専門職（助産師、保健師、保育士等）
3. 地域住民（現在、乳幼児の子育てを行っている母親）
4. 地域住民（母子保健推進員、児童委員・主任児童委員などの役員）
5. 地域住民（高齢者など上記以外の地域住民）
6. その他 [具体的に：]

問 2 各回、活動の運営に携わる人※の人数について（1つだけ○）

※運営に携わる人とは、運営者及び活動のお手伝いをするボランティア等のことです。

1. 1人 / 回
2. 2人 / 回
3. 3～5人 / 回
4. 5人以上 / 回

問 3. 参加している活動の開催回数について（1つだけ○）

1. 週1回
2. 月2回
3. 月1回
4. 毎日
5. その他 [具体的に：]

問 4. 参加している活動の開催時間について（1つだけ○）

1. 1～2時間程度
2. 半日程度
3. 終日（お昼をはさむ）
4. その他 [具体的に：]

問 5. 参加している活動の内容について（1つだけ○）

1. 毎回決まったプログラムがある
2. 毎回決まったプログラムはない
3. その他 [具体的に：]

問 6. 以下の質問では、参加している地域交流活動（子育てサロン、広場等）について、あなたがどのように感じているか、おたずねします。（各1つだけ○）

		そう 思わない	あまり そう 思わない	どちら とも いえない	やや そう 思う	そう 思う
1	ここに来れば人と他愛もない話をする事ができる	1	2	3	4	5
2	他の母親に安心して自分のことを話せない	1	2	3	4	5
3	自分のうちにある気持ちを小出しに表出できる	1	2	3	4	5
4	母親としてだけでなく、素の自分でいられる	1	2	3	4	5
5	他の母親と育児に関する思いや感情を共有することができない	1	2	3	4	5
6	自分の気持ちを受け止めてもらえると感じる	1	2	3	4	5
7	他の母親と交流するなかで、自然に不安がなくなっていく	1	2	3	4	5
8	活動に参加することで、不安の種が大きくなる前に解消できる	1	2	3	4	5
9	活動への参加を通して、自然に子どもの育て方や対処などを知る	1	2	3	4	5
10	活動への参加を通して、意識しなくても自分に必要な情報を得られる	1	2	3	4	5
11	見聞きしたことを、自分の子育ての参考にして取り入れることができない	1	2	3	4	5
12	活動に参加することで、この先の子育てについてのイメージを得られる	1	2	3	4	5
13	自分自身に目を向け、自分の思いに気づくことができる	1	2	3	4	5
14	活動に参加するなかで、自分は大丈夫だと思えるようになる	1	2	3	4	5
15	活動に参加することで、自分も何か役に立つことができると感じられる	1	2	3	4	5
16	活動に参加することで、他のこともやってみようという気持ちにはならない	1	2	3	4	5
17	活動への参加を通して、自己実現を図ることができる	1	2	3	4	5
18	自分の家族のように自分と子どもに気遣ってもらえる	1	2	3	4	5
19	自分（母親）にも関心を向けて気にかけてもらえると感じる	1	2	3	4	5
20	自分が少し目を離していられる時間をもつことはできない	1	2	3	4	5
21	子どもだけでなく、自分（母親）も楽しむことができる	1	2	3	4	5
22	活動に参加しても、自分の育児をこれでいいと思うことはできない	1	2	3	4	5
23	活動に参加することで、自分をねぎらうことができる	1	2	3	4	5
24	母親としてこうあるべきを強いられないと感じる	1	2	3	4	5
25	母親としての出来の評価を受けないと感じる	1	2	3	4	5
26	息詰まる前に、気持ちを軽くすることができる	1	2	3	4	5
27	緊張を緩めて、リラックスすることができる	1	2	3	4	5
28	母親としてのプレッシャーからひととき解放される	1	2	3	4	5
29	自分自身を受け入れてもらえると感じられない	1	2	3	4	5

		そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う
30	活動に参加することで、育児の孤独感を感じなくなる	1	2	3	4	5
31	他の母親や運営者、ボランティアとコミュニケーションを取りづらいつと感じる	1	2	3	4	5
32	身構えることなく気軽に足を運ぶことができる	1	2	3	4	5
33	多少目を離しても、子どもを安心して遊ばせることができる	1	2	3	4	5
34	周囲の反応を気にせず、子どもと過ごすことができる	1	2	3	4	5
35	活動への参加を通して、地域の人に親しみが湧いてくる	1	2	3	4	5
36	活動への参加を通して、他の母親とのつながりができたと感じられる	1	2	3	4	5
37	活動への参加を通して、地域に顔見知りが増えることはない	1	2	3	4	5
38	活動への参加を通して、地域の人と交流する機会が増える	1	2	3	4	5
39	活動への参加を通して、地域の人とのつながりができたと感じられる	1	2	3	4	5
40	活動に参加することで、自分自身の世界が広がっていくと感じる	1	2	3	4	5
41	活動に参加しても、地域は身近に感じられない	1	2	3	4	5
42	活動に参加したことで、この地域で暮らしている実感を得られるようになる	1	2	3	4	5
43	活動に参加したことで、自分が地域で孤立していないと感じるようになる	1	2	3	4	5
44	活動に参加したことで、この地域で子育てをしてよかったと思うようになる	1	2	3	4	5
45	活動に参加したことで、地域に目が向くようになる	1	2	3	4	5



Ⅲ. 現在のあなたの状態について

問 1 育児についての現在の認識についてお聞きします（各 1 つだけ○）

		よくある	ときどきある	あまりない	全くない
1.	子どもを育てるのは楽しいと感ずることがある	1	2	3	4
2.	子どもを育てることによって、自分も成長しているのだと感ずることがある	1	2	3	4
3.	子どもを育てことは有意義ですばらしいことだと思うことがある	1	2	3	4
4.	病気もしないで、子どもは元気に育っていると感ずることがある	1	2	3	4
5.	自分の子どもは、思うようにうまく育っていると感ずることがある	1	2	3	4

問 2 現在の気持ちについてお聞きします（各 1 つだけ○）

		全く感ずない	あまりそう感ずない	まあそう感ずる	非常に感ずる
1	子育てに失敗するのではないかと感ずることがある	1	2	3	4
2	母親としての能力に自信がない	1	2	3	4
3	何となく育児に自信が持てない	1	2	3	4
4	どうしたらよいかわからない	1	2	3	4
5	育児についていろいろ心配なことがある	1	2	3	4
6	この先どう育てたらいいのかわからない	1	2	3	4
7	子どもの発育・発達が気にかかる	1	2	3	4
8	よその子どもと比べて落ち込んだり自信をなくしたりする	1	2	3	4

問 3 地域交流活動に参加するようになってからの育児についてお聞きします（各 1 つだけ○）

		そう思わない	あまりそう思わない	まあそう思う	そう思う
1	子どもに対してやさしい言葉をかけられるようになったと思う	1	2	3	4
2	子どもに対していらいらすることが減ったと思う	1	2	3	4
3	子どもとの関わりで腹を立てることが増えたと思う	1	2	3	4
4	子どもに手をあげそうになることがなくなったと思う	1	2	3	4
5	子どもが泣いていても放っておくことがなくなったと思う	1	2	3	4

問 4 日々の生活についてお聞きします（各 1 つだけ○）

		そう 思わない	あまり そう 思わない	まあ そう 思う	そう 思う
1	日ごろはりのある生活を送っていると思う	1	2	3	4
2	日々の生活の中で喜びや充実感を味わっていると感じる	1	2	3	4
3	何気ない日々の生活が楽しいと感じる	1	2	3	4
4	子育てから逃れることができればと思う	1	2	3	4
5	子育てによって人生は充実していると感じる	1	2	3	4

問 5 まわりの人との関係についてお聞きします（各 1 つだけ○）

		決して 感じない	めったに 感じない	時々 感じる	しばしば 感じる
1	私は自分の周囲の人たちと調子よくいっている	1	2	3	4
2	私をよく知っている人は誰もいない	1	2	3	4
3	私はその気になれば、人とつきあうことができる	1	2	3	4
4	私には知人はいるが、気心の知れた人はいない	1	2	3	4

問 6 地域に対する認識についておききします（各 1 つだけ○）

		そう 思わない	あまり そう 思わない	まあ そう 思う	そう 思う
1	この地域で自分の必要な者を得られる	1	2	3	4
2	住みよい地域作りのために自分から積極的に活動してみたい	1	2	3	4
3	地域のみんなと何かをすることで、自分の生活の豊かさを求めたい	1	2	3	4
4	地域の問題の解決には、地域住民と行政が対等な関係を築くことが重要である	1	2	3	4
5	地域をよくするためには、住民がすることに行政が積極的に協力すべきだ	1	2	3	4
6	地域をよくするためには、住民みずからが決定することが重要である	1	2	3	4
7	今住んでいる地域に、誇りとか愛着のようなものを感じる	1	2	3	4
8	この土地にたまたま生活しているが、さして関心や愛着といったものはない	1	2	3	4
9	人からこの地域の悪口を言われたら、自分の悪口を言われたような気持ちになる	1	2	3	4
10	自分の住んでいる地域で住民運動が起きても、できればそれに関わりたくない	1	2	3	4
11	地域をよくするための活動は、熱心な人に任せておけばよい	1	2	3	4
12	地域での環境整備は、行政に任せておけばよい	1	2	3	4

調査はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。



研究の説明書

テーマ 「乳幼児を育てる母親のための地域とのつながりを生む地域交流活動の機能と、子育て、健康認識の関連」

研究の目的

本研究は、乳幼児を育てる母親が『地域の人とのつながりを築くことを目的とした地域交流活動』に参加することにより得られたものと、得られたものに関連する活動の特性や機能、先行要因について明らかにして、地域における乳幼児を育てる母親への、地域交流活動を基盤とした支援策や児童虐待防止対策について検討することを目的としています。

研究の意義

乳幼児を育てる母親が、参加する地域の人とのつながりを築くことを目的とした活動（地域交流活動）の特性や機能と、参加することにより得られるもの（子育てについての認識や育児の変化、精神的な健康や社会的な健康など）との関連を明らかにすることで、地域交流活動を基盤とする子育て支援策や児童虐待防止対策を考える上での資料となります。

調査に協力していただく方の選定について

本調査は、地域で行われている次の条件を満たす活動に、年に**5回以上**参加している乳幼児を育てるお母さんを対象としています。（2人以上の子どもがいる場合、子どもが**2人とも就学前**である方に限ります）

《対象の活動》

- ①継続して定期的に地域で行っており、乳幼児を育てる母親であれば誰でも参加できる。
- ②乳幼児を育てる母親の育児支援、地域の人とのつながりを築くことを主目的としており、母親が親子で集い、地域の人との交流、母親同士の仲間づくり、情報交換等を行うことができる。
- ③保健師等による教育（集団指導）、育児相談などで構成されたプログラムによって活動内容が固定していない。

例）行政、行政の委託を受けた **NPO** 団体や地域住民（乳幼児の育児を行っている母親、乳幼児の育児経験者、母子保健推進員、児童委員・主任児童委員、高齢者など）が運営する活動。

乳幼児の育児を行っている母親が自発的にグループをつくり行う自主グループ活動。

例えば、子育てサロンや子育て広場など。

調査内容

質問紙調査を行います。質問紙は、「Ⅰ.あなた自身のことについて」、「Ⅱ.あなたが参加している地域交流活動について」、「Ⅲ.現在のあなたの状況について」の3部から構成されます。「Ⅱ.あなたが参加している地域交流活動について」は、この調査票が配布された活動について、「Ⅲ.現在のあなたの状況について」は、活動に参加するようになってからのことをお答えください。

回答いただいた内容は個人が特定されないように、すべて番号で記録し、倫理的配慮（P2）

に沿って保管、廃棄いたします。

回答方法

次のいずれかの方法による質問紙の回答・返送をもって研究協力へのご同意を得られたものといたします。

- ① 同封の返信用封筒に入れ、●月●日（●曜日）までにご返送ください（返信用封筒に記名の必要はございません）
- ② 調査票を入れ封をした封筒を、●月●日（●曜日）までに備え付けの袋に入れていただけますようお願いいたします。
- ③ 回答方法をご参照いただき、Web 上でのご回答をよろしくお願いいたします。

Web での回答方法につきましては、Web アンケートシステムによる回答方法についての説明（P3）をご参照ください。

この調査に回答いただいた方に、直接的により効果が生じることはありませんが、国や自治体が施策を計画・実施するうえで参考にさせていただける、「研究の意義」に示した効果が考えられます。起こるかもしれない不利益は、調査への回答に時間を費やすこと、回答による疲労です。

倫理的配慮

- 1) 本研究の趣旨については、この研究の説明書に記載した通りです。必要に応じて研究に協力していただく活動の団体に出向き、口頭でも行います。研究への協力は自由意思に基づきます。研究協力への同意は、調査票への返信、調査への回答によって得られたものとさせていただきます。研究に協力されない場合も、そのことにより不利益を受けることは一切ありません。
- 2) 調査は研究参加者の都合がよい日時、方法にて行っていただけます。
- 3) 全研究過程を通じて、研究参加者に関する情報の匿名性を保持し、個人情報保護を遵守します。個人情報を保護するために、ご回答いただいた調査票は無作為に処理し、個人や地域交流活動の特定を避けるとともに、研究責任者以外の人の目に触れない場所にデータを保管いたします。
- 4) この研究の成果は、学会や学会誌等にて発表することを予定していますが、個人や地域交流活動が特定されないよう匿名性を保持し、個人情報保護を遵守します。
- 5) 個人や地域交流活動の特定を避けるために、無作為に処理したすべての資料は厳重に管理するとともに、5 年経過した後破棄いたします。
- 6) 利益相反について

本研究は文部科学省科学研究費（挑戦的萌芽研究）の助成を受けて行いますが、利益相反は該当いたしません。

- 7) データの二次利用について

調査データを他の研究に活用することは予定しておりません。

Web 調査 回答方法

【回答期限】 平成 28 年●月●日●時

【所要時間】 おおよそ 10 分です。

【回答方法】

① 下記 URL へアクセスしてください。」

URL:



② 表示される画面に従って回答してください。



③ 確認画面にてご自身の回答内容をご確認ください。
修正する場合は「修正」ボタンをクリックすると
対応する質問に戻り修正をすることができます。



④ 回答を確認後、「送信」ボタンを押すと終了です。

【回答上の注意】

使用できない文字

機種に依存する記号例（区点コードの 9～15 区）

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳

I II III IV V VI VII VIII IX X i ii iii iv v vi vii viii ix x ㊤㊦㊧㊨

【対応環境】

OS: Windows2000 以上 ブラウザ: Internet Explorer

OS: OSX 10.5 以上 ブラウザ: Safari3.1.1 以上

本研究につきまして、ご質問等ございましたら、いつでも下記宛てにお問い合わせください。

【お問い合わせ・連絡先】

〒104-0044 東京都中央区明石町 1 0 - 1

聖路加国際大学 公衆衛生看護学教室 川崎千恵

指導教員：麻原きよみ

TEL/FAX:

E-mail: